

令和4年度 がん教育総合支援事業「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 諫早市立喜々津中学校

担当者名 桑原 加奈子

電 話 0957-43-0024

F A X 0957-43-4013

実施日 令和4年12月5日(月) 9:00 ~ 12:00

場 所 諫早市立喜々津中学校 大多目的室

講座名 がん教育講演会 ~いのちの授業~

講 師 みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏 (がん専門医)

近隣校への案内 案内先: なし

計 0 校

参加者

児童・生徒
第2学年
(91)人

学校職員
(7)人

保護者
(0)人

他校職員等
(0)人

その他
(県教委1人、市教委1人)
(計100)人

テーマと内容

いのちの授業
・がんとはどのような病気かを知る
・がんになった人の気持ちについて考える
・いのちを大事にするとはどういうことか考える

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言>

- ・がんは誰でもなる可能性がある病気であるが、生活習慣でがんになるリスクを半分に減らすことができる。
- ・がんは早期に発見し、早期に治療すれば95%は治すことができる。そのためにも、検診を受けられる年齢になったら、検診を受けてほしい。
- ・がんの治療は、自分で治療法を決める。そのためには、自分の病気を正しく知ることが大事になる。(インフォームドコンセント)また、体の痛みと心の痛みがあり、それぞれの分野の専門家がチームで患者とその家族を支援してくれている。
- ・がん患者が暮らしやすい社会とは、いのちを大事にする社会。自分、他人を大切にできる社会をつくるために、自分にできることを想像し、行動できる人になろう。

<成果>

- ・がんについての新たな知識を得るとともに、がん予防のためには、生活習慣に気をつけることが大切だということを改めて学んだ。
- ・誰もが生活しやすい社会にするためには、どうすればよいか深く考える貴重な機会となった。

<今後の取組及び課題> * 今後のがん教育の充実に向けての活用等

- ・講演会の内容を保健だよりにもまとめ、配付することで内容の再確認、また家庭への啓発を図る。
- ・今後もがんに関する学習を深めるとともに、自他の命を大事にすることができるような取り組みを続けていきたい。